4/14

あなたは、もはや自分自身のものではない。あなたは、代価を払って買い取られた者であるからである。その代価とは、非常に高額な――わたしのいのちそのものであった。わたしはあなたの罪のために自分を犠牲に捧げる間、耐えがたいほどの激痛と辱めを体験した。これは、無限の価値を持つ贈り物であり、ことばで表現し尽くせないほどの愛を示す行為であった。しかし、自らの罪深さを認め、自分には救い主が必要であると認める者だけが、この驚くべき愛の贈り物を受け取ることができるのである。わたしの招く声を聞きなさい。「**すべて疲れた人、重荷を負っている人はわたしのもとへ来なさい。わたしがあなたを休ませてあげます**」。罪は恐ろしい、人を押しつぶす重荷である。しかし、永遠にあなたからそれを取り除くために、わたしは全額、その代価を払ったのだ。だから、毎朝、こう自分に言って聞かせなさい。「私は、もはや自分自身のものではない。私はイエスに属する者です」。そうして、その日を通じ、特に計画を立てたり、決断するときには、自分が誰のものであるかを常に念頭に置いて行動するように努めなさい。わたしに属していると知っていることは、**平和の道**を歩み続ける助けとなる。この知識は、心の奥深くにある必要を満たす。自分が、わたしから愛されている、わたしのものであると思い出すことで、霊的、感情的な平安を見出せるのである。

【新改訳 2017】
Ⅰコリント 6:19 あなたがたは知らないのですか。あなたがたのからだは、あなたがたのうちにおられる、神から受けた聖霊の宮であり、あなたがたはもはや自分自身のものではありません。
Ⅰコリント 6:20 あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。ですから、自分のからだをもって神の栄光を現しなさい。
マタイ 11:28 すべて疲れた人、重荷を負っている人はわたしのもとに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。
ルカ 1:76 幼子よ、あなたこそいと高き方の預言者と呼ばれる。主の御前を先立って行き、その道を備え、
ルカ 1:77 罪の赦しによる救いについて、神の民に、知識を与えるからである。
ルカ 1:78 これは私たちの神の深いあわれみによる。そのあわれみにより、曙の光が、いと高き所から私たちに訪れ
ルカ 1:79 暗闇と死の陰に住んでいた者たちを照らし、私たちの足を平和の道に導く。」